

# 社会福祉法人 花心会

## 令和6年度 各委員会事業計画書

生産性向上委員会（ノーリフトケア推進委員会）

感染対策委員会

事故防止検討委員会

褥瘡対策委員会

権利擁護委員会

衛生管理委員会

給食検討委員会

## 令和6年度 事業計画書

委員会名 ノーリフトケア委員会

計画作成：吉永正隆

委員会 メンバー	委員長		副委員長		委員	
-------------	-----	--	------	--	----	--

目標、実施計画		達成状況	
目 標	具体的取組み内容	達成度	評 價
1. 法人としてノーリフティングケア推進し、定着・継続に向け全職員の認知向上および職員の知識・技術向上への意欲増進を図る	1-①啓発ポスターの更新・掲示 1-②2-①②③を活用し、ノーリフトケアケアに対する関心、意欲向上を高める		
2. 研修会を計画して実施かつ委員のスキルアップを促進する	2-①全体研修を年2回程度開催し、その効果判定材料として研修報告書を活用する 2-②ユニット職員のスキル向上および利用者への有益な介護サービス提供のため、OJTでの指導を委員から行う（困難事例等） 2-③委員を優先して、外部研修参加の計画を立案する 2-④委員での定期的な実技研修を行い、実技指導者の増員を図る		
3. 腰痛調査の実施と集計、経過追跡ができる	3-①年2回の腰痛調査を実施する 3-②調査の集計と職員に対する結果開示をする 3-③介入・フォローが必要な職員の経過を追え		

## 令和6年度 事業計画書

委員会名 ノーリフトケア委員会

計画作成：吉永正隆

委員会 メンバー	委員長		副委員長		委員	
-------------	-----	--	------	--	----	--

目標、実施計画		達成状況	
目 標	具体的取組み内容	達成度	評 價
1. 法人としてノーリフティング ケア推進し、定着・継続に向け全 職員の認知向上および職員の知 識・技術向上への意欲増進を図る	1-①啓発ポスターの更新・掲示 1-②2-①②③を活用し、ノーリフトケアケアに 対する関心、意欲向上を高める		
2. 研修会を計画して実施かつ委員 のスキルアップを促進する	2-①全体研修を年 2 回程度開催し、その効果判 定材料として研修報告書を活用する 2-②ユニット職員のスキル向上および利用者へ の有益な介護サービス提供のため、OJT での指 導を委員から行う（困難事例等） 2-③委員を優先して、外部研修参加の計画を立 案する 2-④委員での定期的な実技研修を行い、実技指 導者の増員を図る		
3. 腰痛調査の実施と集計、経過追 跡ができる	3-①年 2 回の腰痛調査を実施する 3-②調査の集計と職員に対する結果開示をする 3-③介入・フォローが必要な職員の経過を追え		

	る		
4. リスク気づきシートを活用したリスク管理・対策の実現および定着ができる	4-①リスク気づきシート提出の促進・クイックケアに入れ込む事での提出率増加を図る。 4-②シートの提出・内容に関して、各事業所1回／1～2週程度で確認 4-③個別検討を毎月委員会時に開催する		
5. 福祉用具の管理体制の確立および必要用品の把握とその導入計画の実施ができる	4-①定期的な福祉用具の確認・メンテナンスをする		
6.各種マニュアル作成ができる	6-①3, 4についてのマニュアル作成を行う。		

社会福祉法人 花心会

## 令和6年度 事業計画書

委員会名 感染対策委員会

計画作成：久保田 智樹

委員会 メンバー	委員長		副委員長		委員	
-------------	-----	--	------	--	----	--

目標、実施計画			達成状況		
目 標	具体的取組み内容	達成度	評 價		
1. 感染症の予防	①感染症発生時は「施設内患者発生時連絡網」に沿って迅速な対応を行い、拡大防止に努める。 必要に応じて関係各所へ報告する ②年2回感染症の訓練（シュミレーション）江尾 行い、迅速な対応が出来る体制づくりを行う ③普段の体調と比べて変化がある場合は、居室対応とし早めにかかりつけ医に相談・受診を行う。 ④ケア前後の手洗いや手指消毒の徹底、定期的な換気と触れる場所の消毒の徹底				
2. 感染症の理解	①厚生労働省老健局の「介護現場における感染対策の手引き」に記載されている感染症各論に記載されている感染症に対する基本的な知識（予防・発生時の対応）を学ぶ ②入職時の研修（感染対策の基礎知識を学ぶ） ③日常業務における感染対策の実践と評価 年2回の感染症の研修（流行前の知識を学ぶ）				

社会福祉法人 花心会

## 令和6年度 事業計画書

委員会名 事故防止検討委員会

計画作成：松尾健太

委員会 メンバー	委員長		副委員長		委員	
-------------	-----	--	------	--	----	--

目標、実施計画		達成状況	
目 標	具体的取組み内容	達成度	評 價
1.ヒヤリハットの目的を法人全体で共有しヒヤリハットの対策を立てることが出来る。	<p>①事故を未然に防ぐため委員会メンバーより提出、目的を指導・助言する。またヒヤリハットに対しての【対策、対処】方法を打ち出す。ヒヤリハットを入居者本人、介護スタッフ、環境によるものに分け【対策、対処】を立ててる。</p> <p>②事業所内会議などでヒヤリハットの活用、共有を行う。</p> <p>③委員会開催時にヒヤリハットの提出状況、【対策、対処】を各事業所メンバーより発表し評価、助言等につなげる。</p> <p>④委員会開催時にヒヤリハット、事故再発防止策の勉強会を開催し書き方、考え方などの知識向上に努める。</p>		
2.事業所使用の設備取り扱いマニュアルの共有。法人、事業所所有の車いす、備品管理を行う。	<p>①設備のマニュアルの伝達。事業所の設備で不具合が出てもだれでも対処が出来るようになるため伝達・講習機会を設ける。</p> <p>②法人所有の車いす、備品に不具合・要修理箇所・経年劣化などないかチェックシートを作成する。</p>		

社会福祉法人 花心会

## 令和6年度 事業計画書

委員会名 褥瘡対策委員会

計画作成者：池田 晴美

委員会 メンバー	委員長		副委員長		委員	
-------------	-----	--	------	--	----	--

目標、実施計画		達成状況		
目 標	具体的取組み内容	達成度	評 價	
1. 褥瘡リスク評価表のレベルアップを行う	<ul style="list-style-type: none"><li>・褥瘡リスク評価表について、各ユニットからの意見を集め、修正箇所などを検討していく。</li><li>・褥瘡形成されている利用者様については、褥瘡の状況を細かく記入できるような評価表に変更していく。内容は委員会で検討する。</li></ul>			
2. 毎月の委員会で褥瘡形成されている利用者様についての検討を行う	<ul style="list-style-type: none"><li>・褥瘡形成されている利用者様をピックアップしていき、毎月の委員会で状況報告を行い、対策を検討していく。</li><li>・褥瘡部分の経過把握の為、写真を撮り、ファイリングをしておく。</li></ul>			
3 研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"><li>・褥瘡の基礎知識や技術習得の勉強会を委員会内で行う。</li><li>・年2回の研修内容の方向性を早期に決める。</li><li>・外部研修に参加し知識向上を図っていく。</li></ul>			

社会福祉法人 花心会

## 令和6年度 事業計画書

委員会名 権利擁護委員会

計画作成：山本 修司

委員会 メンバー	委員長		副委員長		委員	
-------------	-----	--	------	--	----	--

目標、実施計画			達成状況		
目 標		具体的取組み内容	達成度	評 値	
虐待防止・又身体拘束による弊害などの知識を高め、全員の意識を統一する		①全体研修で、虐待防止・身体拘束防止に関する内容を検討し、知識を深める。 ②拘束ゼロを目標に、拘束解除に向けての成功事例などの情報を発信し、安易に拘束をしないように努める。 ③外部研修へ参加を促し、知識向上に努める。 ④虐待や身体拘束に関する学習を定例委員会や新人才オリエンテーションで実施する。			
2. 安易な拘束や不適切なケアが行われていないか、情報を共有する。		①定例委員会で各事業所からの状況報告と懸案事項について検討する。 ②緊急を要する、事例等があれば臨時に検討会を行い対処していく。 ③マニュアルの改訂を行う。			
3. 虐待防止、身体拘束廃止を目指す。		①毎月の定例委員会において、身体拘束者の解除にむけて検討を行い、ユニットでの拘束状況を確認、必要と思われる場合でも、拘束以外の対策を考えるように推進する。			

## 令和6年度 事業計画書

委員会名 衛生管理委員会

計画作成：石橋 沙永子

委員会 メンバー	委員長		副委員長		委員	
-------------	-----	--	------	--	----	--

目標、実施計画		達成状況	
目 標	具体的取組み内容	達成度	評 價
1. 定期健康診断の受診率の確認 ストレスチェックの実施	①要受診・要再検査者へ2次検診を呼びかける ②健康診断・ストレスチェックの管理 ③再受診時の相談・対応強化 ④産業医との連携強化（西田良介医師）		
2. 季節をテーマにした健康管理 方法	①季節特有の健康問題について 季節性感染症（食中毒・インフルエンザ） 年1回の研修会の開催		
3. 職場環境改善 職場環境改善の為に、各事業所への職場巡回を徹底する。	①長時間労働の管理（人事・労務・健康相談） ②衛生環境の対策・改善 ③リフレッシュ休暇・有休休暇取得の環境 ④相談窓口の設置（ハラスメント等） ⑤ノー残業デーの取り組み		

社会福祉法人 花心会

## 令和6年度 事業計画書

委員会名 給食検討委員会

計画作成：宮原智美

委員会 メンバー	委員長		副委員長		委員	
-------------	-----	--	------	--	----	--

目標、実施計画		達成状況	
目 標	具体的取組み内容	達成度	評 價
1. 利用者様が楽しく家庭的な雰囲気の中で穏やかに食事が出来るよう心掛ける。	① 職員みんなで楽しく食事が出来るようにユニットケアを意識した取り組みをする。  ② 季節に応じた食の取り組みを計画する。		
2. 衛生管理を強化して安心・安全に食事をして頂く。	① 衛生管理の徹底をする。 (提供 2 時間以内の喫食、ユニット内食器類の衛生面)  ② 利用者様の体調や嗜好に合わせた食事形態の工夫や見直しをする。		
3. 地域との触れ合いの場を作る。	① 地域の方々やボランティア支援を受けて、食の取り組みを行い楽しいと思える交流の場を作る。		

社会福祉法人 花心会